

せひほく

西北教育事務所便り
No.63
令和7年3月7日

青森県教育庁西北教育事務所教育課
住所：五所川原市栄町10
Tel 0173-34-2111(代) 35-2170(直)
Fax 0173-33-3663

西北の課題「確かな学力」と「豊かな心・健やかな体」の育成に向けて
特に推進すべき事項

- 1 確かな学力を身に付ける授業づくり
- 2 道徳教育や生徒指導等の充実
- 3 教職員としての資質能力の向上



令和6年度を振り返って

西北の課題：「確かな学力」と「豊かな心・健やかな体」の育成

「確かな学力」

○「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を目指し、児童生徒同士の学び合いや協働的な活動を意図的に設定する学校が増えています。



→●児童生徒の発言が少なく、教師が一方的に説明する授業や一部の児童生徒の発言だけで進められ、躓きに対して支援が不十分な授業も散見されました。



【参考となる資料】

「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について」

～国立教育政策研究所～

○タブレット端末などのICT機器やデジタル教科書を積極的に活用し、児童生徒の理解の促進や学習意欲の向上に努めている学校が多くありました。

→●ICT機器を使うこと自体が目的となり、児童生徒の学びの深まりにつなげていない授業も見受けられました。



【参考となる資料】

「ICTを活用した指導方法」

～文部科学省～



【小・中学校】ICT活用指導力向上地区研修会資料

～青森県総合学校教育センター～

●通常の学級において特別な支援を必要とする児童生徒への対応に苦慮している学校が見受けられます。

→○巡回相談員の活用や継続的な個別の支援により、改善傾向が見られる児童生徒もいます。



【参考となる資料】

「特別な教育的支援を必要とする児童生徒を理解・支援するために第2集」～青森県教育委員会～

「豊かな心・健やかな体」

○不登校の未然防止や不登校対応に関係機関と連携しながら、積極的に取り組んでいる学校が増えてきました。

→●不登校児童生徒数について、小学校は増加傾向、中学校は高止まりの状況が続いています。

●SNS等ネット上でのいじめや問題行動が増え、事態が深刻化するケースもあります。



【参考となる資料】

「各種啓発リーフレット・動画」

～青森県警察～

○児童生徒の体力づくりに積極的に取り組んでいる学校が多いです。

→●小学校において、働き方改革による児童の在校時間の縮小により、体力づくりの時間が減少してきています。

～学校における働き方改革の推進～

教職員が心身ともに健康で、ワーク・ライフ・バランスを実現し、公私ともに充実した時間を送ることで、自身の人間性や創造性を高め、ひいては、教育活動にも良い影響として還元されることを目的とし、学校の業務改善をお願いしているところです。

以下に管内小・中学校の取組について紹介します。

1 業務の効率化	
ペーパーレス化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議資料をデータで共有化し、会議時にPCやタブレットで閲覧 ・ アンケート類をオンラインフォームを利用して自動集計 ・ クラウド型教育プラットフォーム（まなびポケット）を利用して学校・学級通信等を携帯端末等にデータ配布 ・ 学校ポータルサイトを開設し、職員が各種連絡事項を端末で共有（職員朝会の縮減にも有効）
AIドリルの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末を家庭学習にも活用 ・ 自動採点、個人の誤答傾向を蓄積・分析し個別の問題を自動作成
PC端末による勤怠管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤怠ソフト・タイムカードを使用し、勤務状況を自動集計
短縮日課表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短縮日課の設定、5時間・4時間授業日の設定等により、放課後の教材研究・教材準備の時間を確保
データの蓄積	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務や授業に関するデータを蓄積して共有化
2 業務の軽減化	
通知票の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2期制 ・ 文章所見の縮小 ・ 文章所見は3学期のみ、1、2学期は三者面談で伝達【中学校】
学校行事等の縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事（運動会、卒業式等）の内容の簡略化による練習時間の縮小
家庭学習の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノー宿題日を金曜日に設定（月3回）
校務分掌の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年担任制の導入【中学校】 ・ 合同学習（技能教科・現地学習）・授業交換【小学校】 ・ 委員会・クラブ活動の複数担当制による業務の分散 ・ 個別支援が必要な生徒への対応を複数で担当、時間割に位置づけ
勤務について目標値を設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノー残業日を週1日設定、月予定表に明記 ・ 金曜日16：00に職員終会を設定、16：30に退勤 ・ 年間10日以上の子次休暇の取得 ・ 2ヶ月続けて45時間を超える超過勤務をしない
部活動の見直し【中学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域移行、指導員の配置 ・ 複数顧問制による負担軽減
3 保護者対応	
アプリによる連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭からの欠席連絡をアプリですること、朝の電話対応が不要
ボイスワークの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部からの電話対応は7:30～17:00までとし、他の時間帯は地教委に自動転送
保護者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則1回30分以内、16：30までの対応（時間が足りない場合は後日対応）
P T A活動の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門委員会・部会の縮小とボランティア活動の拡充 ・ 地域の祭りの巡回指導をP T A活動へ移行

以上の取組により、教職員の負担感・多忙感が少しずつ解消される傾向が見られてきています。今後とも児童生徒に対して効果的な教育活動を行うことができるよう、実質的・効果的な業務改善の推進をお願いします。

【 事業紹介 】

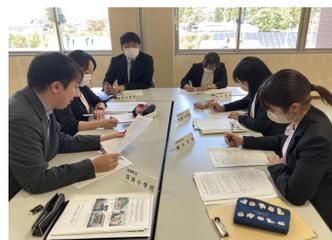
西北教育事務所主催・主管の二つの事業を
紹介します。



西北管内教員派遣研修(大館市)

令和6年10月25日(金)

秋田県大館市は、平成23年から、未来創世戦略として、ふるさとを担う気概と能力を備えた「未来大館市民」を育成するため、「大館ふるさとキャリア教育」に取り組んできました。今年度は11月1日・2日の二日間に渡り「第9回全国小学校キャリア教育研究協議会」の会場として研究大会が開催されました。その他の取組として、ふるさとの未来を切り拓く総合的人間力を「おおだて型学力」とし、「主体的・対話的で深い学び」に至る授業を実現するため、「共感的・協働的な学び合い」をテーマに優れた指導実践を積み重ねているのが大館市の教育です。



その大館市へ、新規採用3年目の15名の先生方が参加し、扇田小学校と比内中学校に分かれ視察研修を実施しました。両校とも特色ある教育活動が展開されていましたが、特徴的な取組のひとつとして、比内中学校区小中連携の共通実践事項である「ハンドサインと反応言葉」の継続的な指導です。小学校で身につけた授業態度がそのまま中学校に引き継がれ、さらにより良い態度が育成されていきます。扇田小の児童たちから聞かれた「同じです」「いいね!」という反応言葉が比内中でも聞かれ、9年間を見据えた切れ目のない指導・支援の充実を感じ取ることができました。参加者からも「小・中学校同一のスタイルで学習の積み重ねができており、こどもたちは中学校に進学してもスムーズに学習に入ることができる」という感想が寄せられました。

冬季学校体育実技(スキー)講習会

令和7年1月7日(火)



昨年度の本講習会は雪不足の影響から開催が危ぶまれましたが、ある程度の積雪により何とか実施することができました。今年度は年末年始の例年になく大雪や大荒れの天候により、実施できるかどうか懸念されましたが、当日は天候も落ち着き予定通り講習会を行うことができました。

今年度は11名の先生方が参加し、スキー指導におけるポイントや安全面の配慮等について学びました。画像と参加者の感想から事業の様子をお伝えします。



この講習会は少人数で参加ができ活動できるので、とても良いと思います。アドバイスも的確で、今後も続けてほしいです。



講師の先生方に私が見てもらったように、スキーが苦手な子にも寄り添ってスキーの楽しさを伝えていけるようにがんばります。

講師の先生方から指導員の技を見せてもらい、しかも教えてもらい、もったいないくらい豪華な講習会でした。勉強になりました。



自分の実技に関する課題を改めて発見できたので、今後は、実技を指導する際にも意識して教えていきたいと思っています。



参加者の講習会に対する評価は、全員「満足」100パーセントでした！

令和6年度 初任者研修を終えて

がんばれ!

多くの皆様にご協力をいただきながら今年度の初任者研修を終えることができました。

初任者は「示範授業研修」(中泊町立小泊小学校、鱒ヶ沢町立鱒ヶ沢中学校)において、授業参観及び協議を通して、授業づくりの基本について知見を広げました。また、「特別活動研修」(つがる市立稲垣小学校、つがる市立稲垣中学校)において、よりよい意思決定の方法と教師の役割についての理解を深めました。

また、「一般授業研修」では、助言者の指導のもと、授業の学習指導案の作成と実践、振り返りを行う中で、児童生徒に身に付けさせたい力を明確にした単元構成や評価方法、授業実践上の様々な工夫を学びました。

最後の「まとめ研修」では、1年間を通しての自己の気づきや学びを振り返り、それを基に2年目に向けての抱負を発表しました。今年度大きく成長した初任者23名が各自思い描いた教師像を目指して歩いていくことを心から応援しています。

初任者配置校及び初任者研修会場校の先生方、指導教員の皆様をはじめ多くの先生方に心から感謝申し上げます。これからも、新規採用職員や形成期に当たる教員への励ましをよろしく願います。



第76回優良公民館表彰

誰でも気軽に利用できる公民館

深浦町公民館

南北に長く広がる深浦町の地域住民のニーズに答えるため、深浦町公民館の他に大戸瀬分館と岩崎分館を備えています。主な事業は、中心的な役割を担っている深浦町公民館で行われますが、文化祭など特別なイベントがある際には、地域の公民館として分館も活動場所になり、地域住民の拠り所になっています。令和5年度の来館者数は約5,100名でした。

令和6年度 生涯スポーツ優良団体表彰 (スポーツクラブ以外)

板柳町スポーツ協会

昭和30年設立、「スポーツの町板柳」の中心的存在として、町民一体となりスポーツ振興に尽力しています。主催事業開催をはじめ、教育委員会主催の各種スポーツ大会への協力など、町民がスポーツの楽しさに触れる機会を設け、豊かなスポーツライフにつながるきっかけづくりに貢献しています。また、アスリートの育成にも力を入れており、全国レベルの選手を輩出しています。

令和7年度「西北の教育」HP掲載について

青森県教育委員会の学校DX推進によるペーパーレス化、学校現場での検索性の向上や保管スペースの削減などから、令和7年度から「西北の教育」は紙媒体による制作は行わないこととしました。つきましては、「西北の教育」電子データ版を西北教育事務所トップページ上へ4月1日(火)掲載する予定です。ぜひ御活用ください。

【西北教育事務所トップページ URL・二次元コード】

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-seihoku/seihoku-top.html>

